

オホーツク蜃気楼・幻氷の“持続可能性” — 全国アンケート結果とヘリテージ化への提言 —

佐藤 トモ子^{1,2,3}, 舘山 一孝¹, 石原 宙^{3,4}

(¹ 北見工業大学, ² 北海道・東北蜃気楼研究会, ³ 知床蜃気楼・幻氷研究会, ⁴ 流水科学センター)

1. 幻氷報告日数 2026 年最新

表 1 年ごとの幻氷日数

年	斜里 網走	紋別
2013	5	—
2014	19	—
2015	2	—
2016	5	—
2017	3	—
2018	5	—
2019	6	0
2020	10	3
2021	6	4
2022	6	0
2023	2	0
2024	4	2
2025	4	1
2026	6	8
合計	83	18
平均	5.9	2.3

2013 年から斜里町およびその周辺で有志と始めた上位蜃気楼の観察は今年で 14 年目となった。幻氷報告日数の最大は 2014 年の 19 日、最小は 2015, 2023 年の 2 日、年平均は 5.9 日となった。

一方、紋別流水科学センターによる上位蜃気楼の観察は 2019 年より始まり、幻氷日数の平均は 2.3 日であった。

今年は 2 月終盤、一度流水が沖合に去ったものの 3 月初めの低気圧通過による強い北風で再接岸し沖合の海水密接度も高まり、2014 年と似た流水シーズンになった。網走での流水終日も 4 月 16 日で平年より 1 週間以上遅かったが、網走・斜里地域からの幻氷報告日は 3 月 31 日が最後だった。斜里網走地域で 4 月まで幻氷が見られたのは 2014, 2017, 2019, 2020, 2022, 2024 で、観察開始以来 14 年中 6 回である。

2. オホーツク蜃気楼・幻氷の未来

2.1 北海道民は蜃気楼を知らない？

オホーツクの上位蜃気楼や幻氷について、地域有志による観察・大学による研究・教育普及活動などさまざまな面から取り組んできた。活動の中で観光資源化に言及した場合「北海道の人は蜃気楼を知らない」「オホーツクエリアは観光従事者が少ない（ため資源として定着しない）」という意見を聞く場面が散見された。北海道の人は本当に蜃気楼を知らず、観光資源化の可能性も小さいと単純に言えるのであろうか。この

課題を検討するため、インターネット有料調査サービスを使用しアンケート調査を行った。

表 2 アンケート調査の概要

使用プラットフォーム
アイブリッジ株式会社:Freeasy（学術調査に対応したセルフ型アンケートツール）
調査対象数と期間
◆1,497 名（うち最大有効数 1,421 名。質問毎に無効データがあればさらに除く） ◆2025/2/14~15（エリア毎最大数に達し次第終了）
対象の割付
◆年代ごとの人口構成比、男女比に応じた対象者数を自動設定 ◆全国を下記 9 エリアに分け、人口集中地区に偏らないよう面積・都府県数を考慮して手動で人数を割付： 北海道 (120)・東北 (180)・東京埼玉以外の関東 (150)・東京埼玉 (65)・中部（※北陸込）(270)・近畿 (210)・中国 (150)・四国 (120)・九州沖縄 (232)

アンケートは珍しい自然現象の「認知」と「興味」を問う形で行った。結果を図 1, 2, 3 に示す。北海道で蜃気楼を知っていると答えた人は 69.9%で、全国平均の 63.9%よりも高かった。

一方、興味の度合いを点数化すると、北海道は 0.65 点と全エリアの中で最も低かった。全国平均は 0.91 で、最も高いのは関東エリア・東京埼玉エリアの 1.11 であった。興味については蜃気楼の展望地として「富山県他」と補足を入れたことが影響している可能性がある。

2.2 ヘリテージ化とは

ヘリテージ化 (heritagization) とは観光研究や文化地理学において、何らかの対象が「地域の遺産」「守るべき文化」として社会的に位置づけられていく過程を指す言葉である。近年は建造物や遺跡だけでなく、自然景観・生活文化・慣習・地域の実践などにも広く使われるようになってきている。観光資源化という狭い枠組みに囚われず、研究や文化活動を通してオホーツクの蜃気楼・幻氷が未来に残っていくような活動を支えていきたい。

謝辞：アンケート調査は第 14 回気象文化大賞 (2024) の助成金により実施しました。

Bar chart showing the percentage of correct answers for 23 natural phenomena. The chart is sorted by percentage in descending order. Each bar is labeled with its rank (color-coded), the percentage, and the name of the phenomenon.

Legend:

- ・ 左から選択欄並び順に現象名を記載
- ・ %上文字は全体順位

Rank	Percentage	Phenomenon
1位	63.6%	履気楼
17位	7.3%	幻氷
19位	5.5%	四角い太陽
14位	14.6%	だるま太陽
11位	28.0%	不知火
2位	63.0%	雲海
7位	52.1%	流水
4位	54.9%	ダイヤモンブダス
18位	6.0%	ジュエリーアイス
21位	5.0%	アイスバブル
24位	2.8%	ジュエリーバブル
23位	3.4%	フロストフラワー
16位	13.1%	低緯度オーロラ
22位	3.9%	グリーンフラッシュ
5位	54.7%	樹氷
8位	41.5%	間欠泉
20位	5.2%	泥火山
12位	26.7%	氷瀑
9位	37.0%	氷柱
15位	14.4%	氷筈
10位	31.0%	御神渡
3位	55.3%	渦潮
6位	54.5%	干潟
13位	23.4%	湧水

認知質問：以下のめずらしい自然現象のうち、あなたが名前を知っているものをすべて選択してください

